

見つけた!

# 地域力

「朝日ファミリー」を発行しているマイタウン・マイエリアの多彩な魅力をも、独自の取材でお届けします。



こいし歯科での手水寄席風景。



第八回 手水寄席 平成22年7月11日(日) 上方落語 七度狐 / 花の家かぼす



平成22年7月2日(金) 母親教室「スマイルスクールにて」

※上の2枚の写真は本PDF作成時に追加しました。朝日ファミリーに掲載された写真ではありません。

5月9日、池田市こいし歯科は老若男女あふれんばかりの人だった。歯医者に人だかり…その光景の先は、なんと寄席。

この意外な企画を始めたのは歯科医師の小石剛さん。『手水寄席』と名付け、セミプロ落語



小石剛さん

## 歯医者で落語!? にぎわい生む人々

家の落語の後、最後に自ら恋歯家歯つ恋の名で、歯の健康を語り出した。「予防歯科について興味

をもつて聞いてほしい」と企画したという。毎月第3金曜20時、小石さんはゴミ拾いイベントした。

近、助産師や栄養士とともに子育て中の親に向けた講座も企画し、水月児童文化センターでスタートした。

こんな企画を次々と実現していく力の源はどこに?と尋ねると「世のため人のためより出会いと交流がテーマ。いろんな人に雑談で『こういうことしたいな』と話して

おくつ、人と人が意外なところにつながって、話が一気にまとまるのがよくあるんです」と肩ひじ張らない自然体だ。

池田市では、2007年の「落語みゅーじあ

の吉岡博充さんは、商店街の1店一席プロジェクト(落語をテーマに1店1商品を開発)を立ち上げた1人。手水寄席も、吉岡さんがこいし歯科に参加を呼びかけて始めた。

吉岡さんは「街おこしには正解がないし、これで終わりということもない。長いスパンでいろいろ試みながら、息長く続けてにぎわう街をつくりたい」と話していた。

「朝日ファミリー」を発行しているマイタウン・マイエリアの多彩な魅力をも、独自の取材でお届けします。



(写真左から)いけだ3Cの吉岡博充さん、藤井裕司さん、サカエマチ商店街副会長の加藤健一さん